

医療機関情報用紙(クリニック用)
兼 地域連携医療協力機関登録用紙

R 年 月 日 作成

【患者様公開項目】

医療機関名称		フリガナ 院長名	
出身大学	大学 年卒		
所在地	〒		
電話番号		FAX	
ホームページURL		Eメール	
最寄駅	(徒歩 ・ 車 ・ バスで 分)		
標榜科			
駐車場	有 ・ 無 ・ 車での来院は控えて欲しい		

診療開始時間(時間を記入のうえ、診療曜日に○を付けてください。)

		月	火	水	木	金	土	日・祝
AM	～							
PM	～							
◎ 曜日は : ~ :								

※診療科等で、上記の診療日や時間が異なる場合は、下記にご記入ください。

予約診療	有 ・ 無 ・ 完全予約制
------	---------------

院長先生の得意分野(専門疾患など)

協賛先の特約券等（付加価値等）

病院の特徴など(150～400字程度、院長先生の座右の銘またはモットーなどでも結構です。)

【非公開項目】下記項目は、連携の参考とさせていただくことを目的としています。第三者や患者、患者家族に開示いたしません。

可能な検査項目					
項目	可否	項目	可否	項目	可否
エックス線単純検査	可 ・ 否	上部消化管内視鏡	可 ・ 否	下部消化管内視鏡	可 ・ 否
心電図 ・ ホルター心電図	可 ・ 否	MRI	可 ・ 否	CTスキャン	可 ・ 否
超音波検査	可 ・ 否		可 ・ 否		可 ・ 否
備考					

入院施設	有 ・ 無
------	-------

透析	血液透析	可 ・ 否	腹膜透析	可 ・ 否
----	------	-------	------	-------

リハビリ					
理学療法士によるリハビリ	可 ・ 否	作業療法士によるリハビリ	可 ・ 否	言語療法士によるリハビリ	可 ・ 否

訪問診療		可 ・ 不可			
在宅酸素療法	可 ・ 否	在宅中心静脈栄養法	可 ・ 否	経管栄養法	可 ・ 否
在宅自己導尿	可 ・ 否	在宅人工呼吸	可 ・ 否	在宅疼痛管理	可 ・ 否
褥瘡処理	可 ・ 否	バルーンカテ留置	可 ・ 否	ターミナル・ケア	可 ・ 否
看取り	可 ・ 否	在宅療養支援診療所	可 ・ 否	小児	可 ・ 否
24時間対応	可 ・ 否		可 ・ 否		可 ・ 否
備考					

内科を標榜している医療機関様は以下のアンケートに回答してください。（診療可…○、診療不可…×）

★内分泌代謝内科	・糖尿病…食事指導が終了し、血糖コントロールが安定し、進行した糖尿病性合併症を有していない患者が対象	
	○ ・ ×	食事・運動療法のみにて治療中
	○ ・ ×	経口血糖下薬にて治療中
	○ ・ ×	インスリン療法にて治療中
	・パセドウ病	
	○ ・ ×	寛解状態で、経過観察のみの患者
	・橋本病	
	○ ・ ×	甲状腺機能が正常で、経過観察のみの患者
	・甲状腺機能低下症	
	○ ・ ×	甲状腺ホルモン剤の投与量が安定している患者
	・高脂血症	
	○ ・ ×	食事療法に加え、薬物療法を実施している場合は、数ヶ月観察し副作用がないことを確認できている患者
★消化器内科	・慢性C型肝炎	
	○ ・ ×	安定した状態にある患者の定期的検査および投薬目的の患者
	○ ・ ×	強力ミノファージェンCの定期的静脈注射目的の患者
	・肝硬変	
	○ ・ ×	安定した状態にある患者の定期的検査および投薬目的の患者
	○ ・ ×	強力ミノファージェンCの定期的静脈注射目的の患者
	・下記の経過観察	
	○ ・ ×	慢性胃炎
	○ ・ ×	過敏性腸症候群
	○ ・ ×	脂肪肝
	○ ・ ×	FD・NUD（神経性胃炎）
	○ ・ ×	逆流性食道炎
	・その他	
	○ ・ ×	在宅診療・病状緩和療法・看取りを行っているか
★呼吸器内科	・気管支喘息	
	○ ・ ×	過去1年間に発作がなく、病状の安定している患者
	・COPD	
	○ ・ ×	スピリーバの吸入あるいは投薬にて病状が安定している患者
	・肺癌	
	○ ・ ×	積極的治療（化学療法）を希望せず、外来にて病状緩和療法（麻薬薬剤を含めて）を希望している患者
	○ ・ ×	積極的治療（化学療法）を希望せず、在宅診療にて病状緩和療法（麻薬薬剤を含めて）を希望している患者
	・慢性呼吸不全	
	○ ・ ×	HOT（在宅酸素療法）を行っているか
★血液内科	・鉄欠乏性貧血	
	○ ・ ×	鉄剤の定期的処方が必要な患者
	○ ・ ×	鉄剤を使用できないため、定期的に鉄剤の静脈注射が必要な患者
	・悪性貧血（胃切除後のビタミンB12欠乏症を含む）	
	○ ・ ×	ビタミンB12定期的筋肉注射（3ヶ月毎）が必要な患者
	・特発性血小板減少性紫斑症（ITP）	
	○ ・ ×	軽症または寛解状態にて血小板数の確認のための定期的血液検査が必要な患者
	・その他	
	○ ・ ×	在宅診療・ターミナルケア・看取りを行っているか
★腎臓内科	○ ・ ×	腎疾患が伴わない高血圧で、降圧薬の定期処方が必要な患者
	○ ・ ×	腎疾患が伴わない高脂血症で、定期処方が必要な患者
★循環器内科	・高血圧症	
	○ ・ ×	精査が終了し、血圧コントロールが安定し降圧薬の定期処方が必要な患者
	・狭心症・心筋梗塞	
	○ ・ ×	PTCA後、状態が安定しており定期的投薬および経過観察が必要な患者
	・不整脈	
	○ ・ ×	コントロールがつき、状態が安定しているものの、定期的に抗不整脈薬の処方が必要な患者
	・心房細動	
	○ ・ ×	コントロールがつき、状態が安定しているものの、ワーファリンコントロールが必要な患者
	・慢性心不全	
	○ ・ ×	コントロールがつき、状態が安定しているものの、定期的に投薬および経過観察が必要な患者
	・閉塞性動脈硬化症	
	○ ・ ×	コントロールがつき、状態が安定しているものの、定期的に投薬が必要な患者

★脳神経内科	・自立神経失調症	
	○ ・ ×	器質疾患は除外診断されているが、ふらつき等の不安定愁訴があり、抗不安薬や抗うつ薬の処方が必要な患者
	・しびれ	
	○ ・ ×	器質疾患は除外診断されているが、慢性のしびれがあり、ビタミン剤や安定剤の方が必要な患者
	・パーキンソン病、パーキンソン症候群	
	○ ・ ×	病状は安定しているが、抗パーキンソン病薬の定期処方および日常生活指導が必要な患者
	・認知症	
	○ ・ ×	病状は安定しているが、定期処方および日常生活指導が必要な患者
	・脳卒中後遺症	
	○ ・ ×	病状は安定しているが、定期処方（降圧薬、抗血小板凝集抑制薬等）が必要な患者
	・めまい	
	○ ・ ×	精査が終了し、病状は安定しているが、めまい薬等の定期処方および日常生活指導が必要な患者
	・変形性頸椎症	
	○ ・ ×	手術適用はないものの、しびれなどの症状があり内服継続が必要な患者
	・頸動脈狭窄症	
	○ ・ ×	手術適用はないものの、抗血小板剤などの内服継続が必要な患者
	・てんかん	
	○ ・ ×	1年以上発作がない患者
	・頭痛	
	○ ・ ×	機能性頭痛（筋緊張性頭痛・片頭痛）で内服コントロールができている患者
	○ ・ ×	MRI・MRAなどは異常なく、機能性頭痛も否定的で、時折NSAIDsが必要な頭痛
	・神経変性疾患	
	○ ・ ×	在宅療養中で、訪問診療・在宅での看取りを行っているか